

# ミールカード利用者の声

これは、僕たちが実際にミールカードを使ってみて、感想や自分にとって良かった点を書いてまとめたものです！



ミールカードを利用するか悩んでいる新入生や保護者のみなさまは、こちらの声をご参考に決めていただければと思います。

地域教育文化学部 地域教育文化学科 2年 藤原綾華

私は実家が山形県外にあり初めての一人暮らしだったため、両親が心配してミールカードを申し込んでくれました。

1年次はミールカードがあることで、多少忙しくてもお昼はなるべく食堂で食事する習慣ができ、一人暮らし開始直後でもバランスの良い食事をする機会を確保できました。また、栄養が記録されるので、料理の栄養バランスを知ったり自分の食事を見直したりするきっかけにすることができました。そして、私はこれまであまり一食分の食費について考える機会がなかったため、ミールカードに上限金額があることで食費の金銭感覚を養うこともできました。これは余談ですが、毎日ミールカードの上限金額と料理の値段を照らし合わせて上手くやりくりしようとしていたため、暗算力も鍛えることができました。

私は2年生になると空きコマが増えて自宅でご飯を食べられる時間が増えることを見越して、もともと今年はミールカードを申し込む予定はありませんでした。しかし、ミールカードを利用していないと食堂にご飯を食べに行く機会が減るため、自分でも気を付けてはいるものの、やはり去年よりは食事の栄養バランスが偏っているように感じています。

# ミールカード利用者の声



山形大学院理工学研究科1年生千田 逸人 さん

ミールカードを始めたきっかけは初めての一人暮らしだったこともあり、親と相談して申し込みました。ほぼ必ずと言っていいほど朝食を取ってから講義に向かって、昼は食堂で友人などと食事、雑談をしながら過ごしていました。どんなに金欠の時でも一定金額分の食事をする事ができるという「安心感」がとてもよかったな、と思います。しかし、今年はコロナの影響で前期の間ミールカードを利用できなくなってしまい、インスタント食品やコンビニに頼る生活をしていました。大学の研究室には通っていたので、昼ご飯等をミールカードで食べられたらなぁと何度も思っていました。そして後期から改めてミールカードを使うことができるようになり本当に助かりました（米沢キャンパスのみ後期からミールカードを再開しています）。対面講義が後期から再開されたことで、食堂も利用者が増え不安に思うこともありましたが、感染対策もきちんとされており、今では昨年までと変わらずに安心してご利用させて頂いています。私は来年度、山形大学院へ入学をするので引き続きミールカードを利用したいと思っています。

地域教育文化学部地域教育文化学科3年 小林剛大

一人暮らしを始めるにあたり、毎食自炊する自信がなかったのでなるべく学食で食事がしたいと思いミールカードを申し込みました。ミールカードを使って良かったことは、時間を有効に使えることです。自炊しなくても良いので、自炊に使う時間を勉強やサークルのために割くことができます。料理を作るだけでなく、洗い物もしなくて良いのでとても便利です。

また、最初にお金を払ってしまうので、食費節約することを考えなくても良いので自分の趣味にお金を割きつつ、お腹いっぱいにご飯を食べることができます。

2020年はコロナの影響でミールカードが使えなくなり、自炊したり、コンビニでお弁当を買ったりするようになりました。今まで自炊に時間を割いていなかったなので、時間が足りない感覚になりました。また、コンビニでお弁当を買うと栄養バランスが偏ってしまうので、体調管理が大変です。